

普及現地情報



発信年月日：令和3年（2021年）12月 22日
所属名：湖北農産普及課
番号：G21017
部門分類：170（花き）
発信者名：兼房・北村・松浦

切り花ハボタン、出荷最盛期

湖北地域の切り花ハボタンは、主にJAレーク伊吹管内で栽培されており、12月6日から出荷が始まり、12月17日から22日に最盛期を迎えました。お正月用の花材として大阪や京都の花き市場へ出荷されます。

切り花ハボタンは、JAレーク伊吹管内で、小菊に次ぐ花き品目として2014年から取り組みが始まり、今年は10戸の生産者が栽培されています。

当課ではJAと連携して、7月に播種研修会、9月と11月には栽培指導と個別巡回、12月には出荷前の目合わせ研修会を行いました。品質は年々良くなり県や市場の品評会で入賞しています。

今年は11月上旬頃まで比較的暖かかったため発色が遅れましたが、12月の目合わせ研修会の時には発色が進んでいました。昨年並みの約1万本が出荷される見込みです。

露地や水稻育苗跡ハウスで栽培できる品目として、今後もJAと連携して産地の育成を推進していきます。



個別巡回（11月16日）



目合わせ研修会（12月7日）



出荷直前の荷姿（12月17日）